

7.6. 景 観

7.6.1. 評価方法

構造物や砂泥の状況等を踏まえ、パース図を作成し、利用者の視点を含めて、定性的に評価を行った。

7.6.2. 評価結果

景観の評価では、比較的自然の干潟に近い形状である案である A 案を、最も高い評価とした（俯瞰図参照）。A 案において、通常は、潜堤の一部が露出するが、満潮時には水没する（パース図参照）。

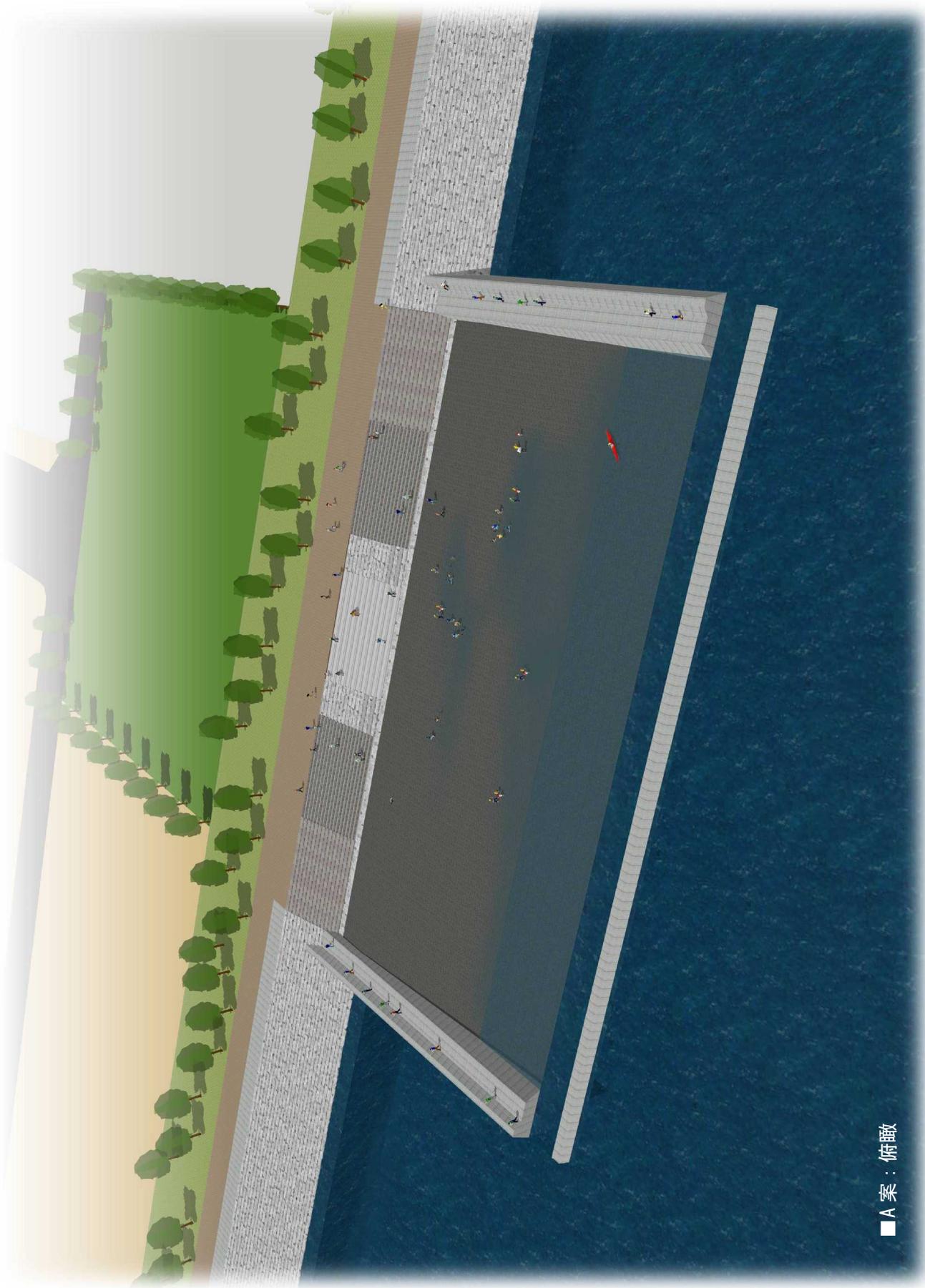
また、自然の干潟とは異なる形状ではあるものの、当該地域が、不特定多数の人が訪れる可能性がある場所であることから、独特な景観となり、来訪者の興味をひく可能性のある C 案シリーズは、高い評価を得られる面もあると判断した（俯瞰図参照）。

一方で、砂泥の安定を最大限考慮した B 案は、砂泥の周囲を仕切り板で囲まれており、干潟に立った利用者からは海面は臨めず、閉塞感のある構造であることから、景観の評価は最低と判断した。これらを含めて、C 案シリーズも周りを囲まれている閉塞感があると感じられる面も有している（パース図参照）。

表 7-20 景観の評価の比較

	評価の内容	評価結果
A 案	■ 自然な干潟の形状に近く、造成箇所の前面は開けている。	5
A-1 案	■ 前方は開けているが、二段の段差があるため、干潟とは異なる景観となる。	3~4
B 案	■ 周辺が仕切り板で囲まれており閉塞感があり、中から海面は見えない。	1
C 案	■ 自然な状態の干潟とは異なる景観である。 ■ 陸側に向かって干潟が広がる独特な景観であることから、来訪者の興味をひき地域のランドマークになる可能性がある。	2~4
C-1 案	■ 陸側に向かって干潟的環境が広がる独特な景観であることから、来訪者の興味をひき地域のランドマークになる可能性がある。	2~4
C-2 案	■ 陸側に向かって干潟的環境が広がる独特な景観であることから、来訪者の興味をひき地域のランドマークになる可能性がある。	2~4
C-3 案	■ 陸側に向かって干潟的環境が広がる独特な景観であることから、来訪者の興味をひき地域のランドマークになる可能性がある。	2~4
C-4 案	■ 陸側に向かって干潟的環境が広がる独特な景観であることから、来訪者の興味をひき地域のランドマークになる可能性がある。	2~4

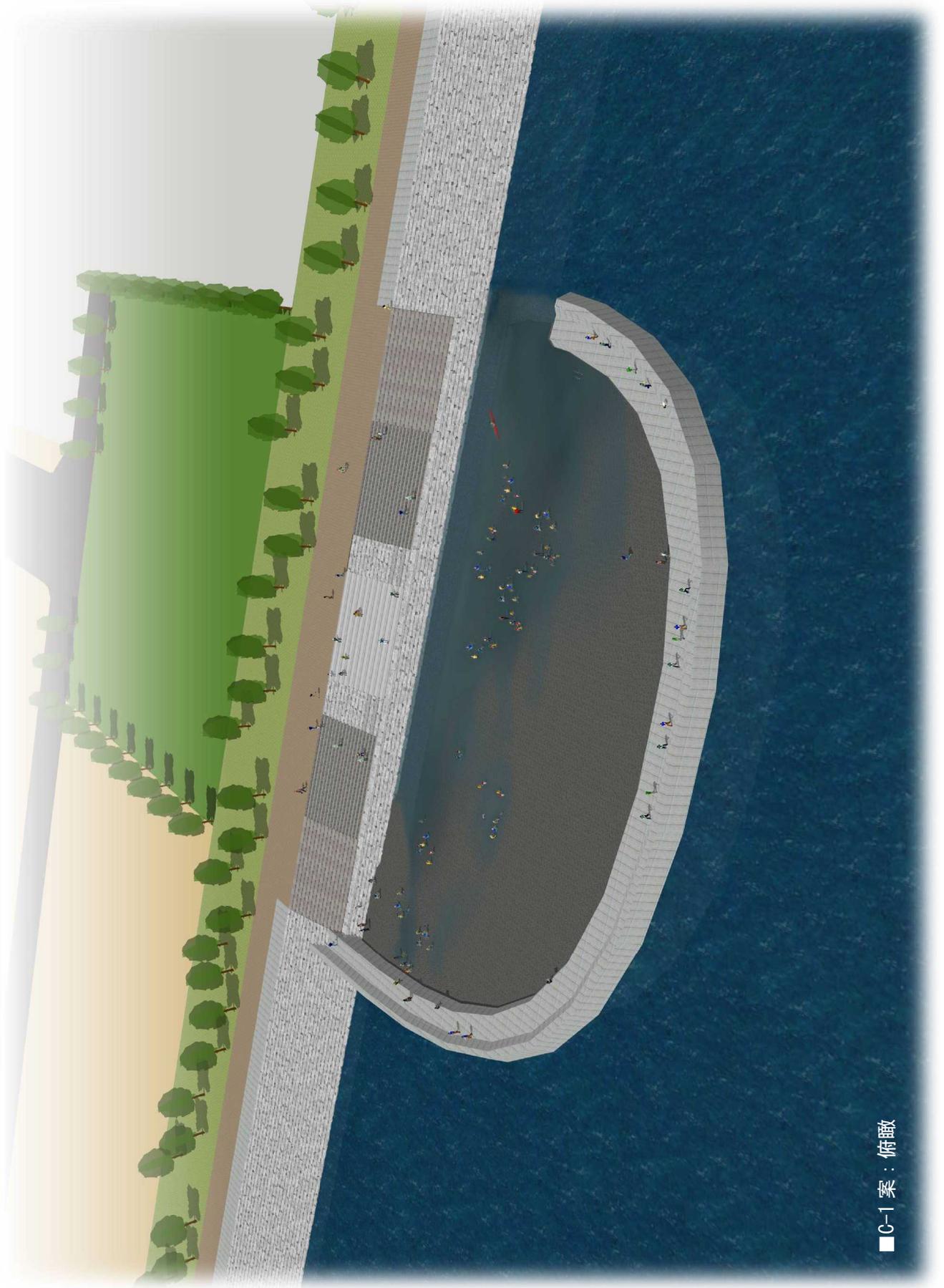
※評価結果 5；良好、4；やや良好、3；普通、2；やや不良、1；不良



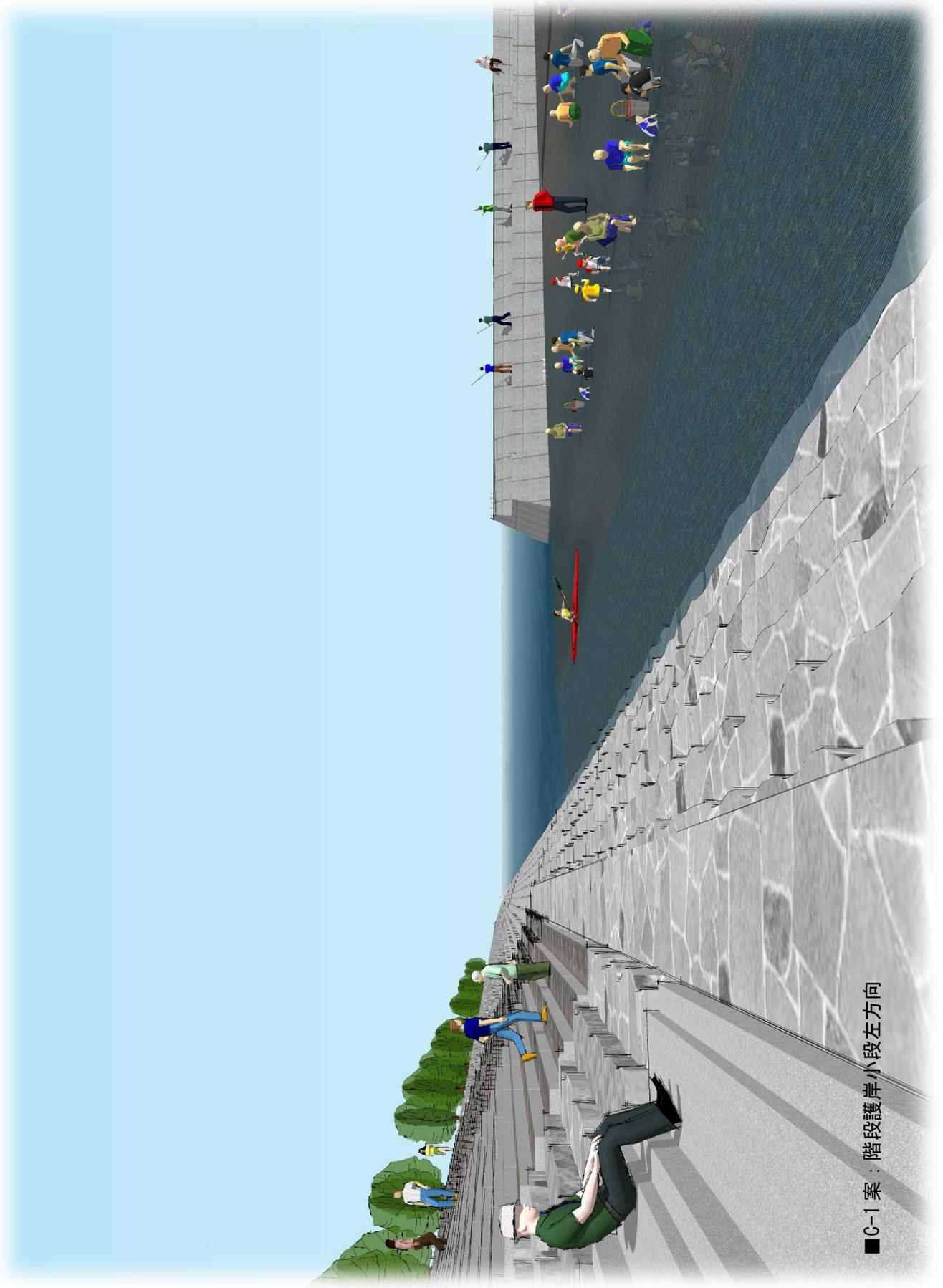
■ A 案：俯瞰



■ A 案：階段護岸小段左方向



■ C-1 案：俯瞰



■ C-1 案：階段護岸小段左方向